

本科インターンシップ（学外実習）に関して
企業からよく尋ねられる質問への回答

沼津工業高等専門学校
COOP 教育委員長

初版 R1 年 11 月 20 日

目次

1. はじめに（この文書を読まれるすべての方に）	3
2. 沼津高専本科のインターンシップ概要	3
3. インターンシップの年間予定	
(2) インターンシップは夏休みだけでしょうか	
(3) 夏休みの日付はいつからいつまでですか	4
4. インターンシップ情報の学内周知状況	
(2) 要項作りに向けてご要望はありますか？（学生の費用は？）	
(3) 募集要項を送るのはいつ頃が良いでしょうか？	
(4) 実施期間が5日間というのは短いと思うのですが？	
(5) 事前に学生の能力や状況や希望を把握できれば、実施内容を微調整できるのですが	
(6) できれば就職を検討する学生に来て欲しいのですが	
(7) 受入れ企業が学生受入れにどれだけ労力をかけるか学生は知っていますか	5
5. インターンシップ参加状況（学生数と企業数）	7
6. インターンシップ事前研修	8
7. インターンシップ受入機関からのアンケート集計結果	
(2) 事前に何を学びたいのかの情報をいただけると助かります	8
8. インターンシップ参加学生からのアンケート集計結果	
(2) 実習後の学生の意見を聞きたいのですが	8
9. その他質問	
(1) これからもよろしくお願いします	
(2) 教員に来訪頂き有難うございます	
(3) 事後提出用証明書の用紙の入手方法を改善して欲しい	
(4) 企業担当者は、事前に学生と直接連絡できますか？	
(5) （インターンシップに関して）学生へのアピールの機会がありますか？	
(6) 事務局との連携をもう少し密にしたいです	
(7) どうすれば就職先に選ばれるでしょう？	
(8) 今年度のインターンシップが終わりましたので、学校にご挨拶に行きたいのですが？	
(9) 専攻科学生にも 1, 2 週間実施のインターンシップに来て欲しい	9

1. はじめに（この文書を読まれるすべての方に）

沼津高専は本科（15歳で入学する5年間の教育課程で、20歳で准学士という称号を持って卒業）と、専攻科（20歳で入学する2年間の教育課程で、22歳で学士として卒業）という教育課程があります。この文書では本科のインターンシップについて記します。なお、専攻科のインターンシップは、<http://internship.numazu-ct.ac.jp/#intership-adv> に詳細が記されています。

本校のインターンシップについて、毎年企業や学生からアンケート調査を行い、その結果や統計情報を集めて**インターンシップ報告書**を作成しています。そしてその報告書は<http://internship.numazu-ct.ac.jp/>（（沼津高専の）インターンシップ関連情報の Web）に貼り付けていますので、良かったらご覧ください。また、そうした結果を元に、実施方法を微調整しています。

その報告書には、その年度に企業から受けた質問への回答も書いてあるのですが、もともとそういった情報がそうした文書に書かれていることを想定する人ばかりではないと思います。

そこで、今回新たに**毎年のように共通して問われる質問**を一つのファイルにまとめたいと思います。

ただし、時代とともにインターンシップは変化しています。

この、「毎年のように共通して尋ねられる質問に対する回答」は、誤りの無い新しい情報をお伝えすることを目指して作りますが、「常に 100%正しい情報を載せる」ことまでは確約できないことをお断りいたします。理由は、アップデートをし損ねたりするのが皆無とはいえないからです。この点はどうぞ寛大にお考えくださいますようお願いいたします。

(2019.10)

2. 沼津高専本科のインターンシップ概要

文科省によると我が国のインターンシップは、「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」だとされています。そのうちのある条件を満たしたものを、沼津高専では「学外実習」という自由選択科目として単位化しています。その科目は主として4年生が履修します。（条件が合えば4年生以外も受講できることになっており、稀に4年生以外の受講もあります）。なお、この文書は学外の方も読む可能性があることからインターンシップという用語を用います。

主な条件は、1単位（2単位）には学外の実習を30時間（60時間）以上体験すること、学内の事前研修を受けること、事後報告会で報告することです。なお、学外実習は授業ですので学生の事故に対しては学校の保険を適用できます。

<http://internship.numazu-ct.ac.jp/>（（沼津高専の）インターンシップ関連情報の Web）

の中の、

平成29・30年度報告書(pdfファイル)

の「付録 3. 学外実習生学生心得」に学内の規則の記載がございますので、ご参照ください。(2019.10)

毎年のようにこういった報告書を作成しています。報告書作成の際は、企業様のアンケート結果や学生のアンケート結果を集計します。その際は特に自由記述欄に注目しています。そうした中から改善点を拾い出して、改善を進めています。

3. インターンシップの年間予定

平成31年度の年間予定は、<http://internship.numazu-ct.ac.jp/> ((沼津高専の) インターンシップ関連情報の Web) の中の、

平成29・30年度報告書(pdfファイル)

の「付録 2. 令和1年度(平成31年度)インターンシップスケジュール(予定)」に記載がございますので、ご参照ください。(2019.10)

(2) インターンシップは夏休みだけでしょか

インターンシップの実施時期は、本校の学則により、「学外実習は、原則として夏期休業期間中に履修するものとする」となっています。

もしも夏休みの最終日が木曜日で、夏休み明け最初の授業の日が金曜日だという年度があるとします。その年に「夏休み明け最初の授業日を最終日とするインターンシップ」があった場合、そのインターンシップに参加するということを学生が望み、担任や学科がそれを許可したならば、その金曜日一日が「夏季休業期間でない時期の履修」に相当します。ただし、その金曜日の学校の授業は「欠席」になり学生の通常授業の履修に不利に働きますので、よほどのことが無い限りそうした参加は考えにくいです。(2019.10)

(3) 夏休みの日付はいつからいつまでですか

本校の夏休みは固定されておらず、年度によって変動します。

例年、当該年度の夏休みの日付が確定するのは前年度の2月です。(例えば、令和2年度の夏休みの日付が確定するのは、令和2年2月でした) 決まり次第 Web 上に貼り付けますのでご参考に。(2019.10)

参考情報：

R1年：夏休み前最後の登校日は7月24日(火)、休み明け最初の授業日は9月2日(月)

H30年：夏休み前最後の登校日は7月27日(金)、休み明け最初の授業日は9月10日(月)

H29年：夏休み前最後の登校日は7月14日(金)、休み明け最初の授業日は9月11日(月)

H28年：夏休み前最後の登校日は7月21日(木)、休み明け最初の授業日は9月1日(木)

H27年：夏休み前最後の登校日は8月6日(木)、休み明け最初の授業日は9月24日(木)

4. インターンシップ情報の学内周知状況

インターンシップに関して、企業が募集してから企業に依頼が届くまでの学内の状況をざっくりと示したのが図1です。図中の「学内サーバ Moodle」は、無料の e-Learning プラットフォームであり、学生や教員が情報共有のために活用しています。Moodle 内に作られる各種情報の例を以下に示します：

- ・ インターンシップに関する規則
インターンシップに関する関係書類
- ・ 各年度のインターンシップ募集企業（今年度分も含む）
- ・ 各年度の実施実績（今年度分が掲載されるのは夏休み明け）
- ・ 報告書（基本的に毎年作られる）
- ・ 学生アンケート打ち込み画面と、各年度の集計
- ・ など

沼津高専で一般的なインターンシップの情報は、学生係宛に送られる募集要項です。その情報は学内サーバに格納され、4月早々から学生はその情報を閲覧できます。学生は担任と相談しながら好みの会社を選び、履歴書を作るなどの事務手続きも進めてインターンシップに応募します。

なお、会社選びに対する担任の寄与は極小です。理由は、4年生の担任は毎年変わるので、企業の状況を調査する余裕が無いからです。逆に言えば、募集要項をしっかりと作ることは大切です。

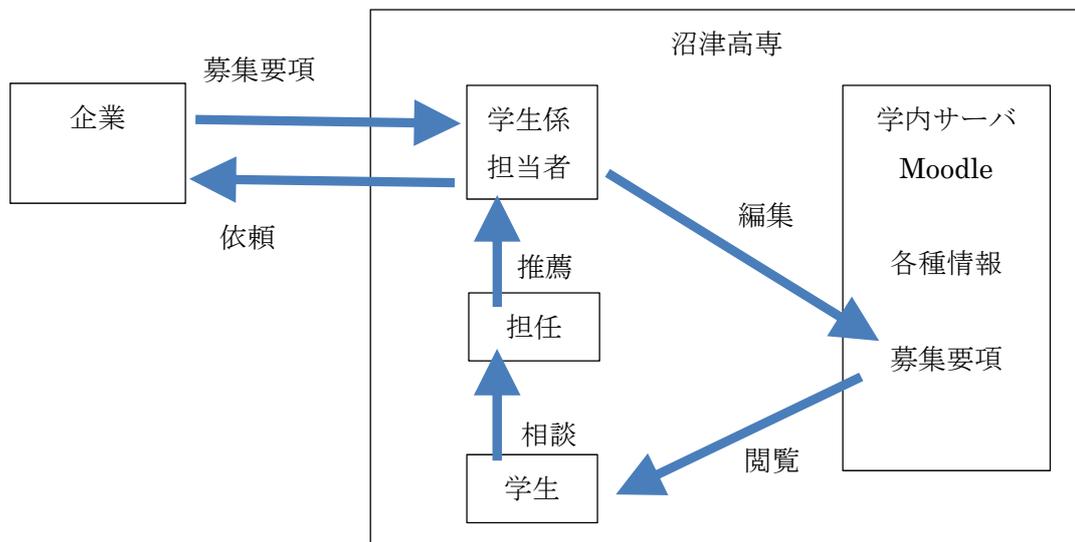


図1 募集の情報の学内伝達

(2019.10)

(2) 要項作りに向けてご要望はありますか？（学生の費用は？）

本校のインターンシップ（学外実習）という科目は、目的として

- ・実社会で求められる技術者としての実践的・技術的感覚を養うこと。
- ・企業等における実習を通じ、社会における技術者の役割と責任、技術の重要性を学ぶこと。
- ・技術が様々な学問領域によって構築されていることを体験的に学び、総合的に学ぶことの重要性を認識すること。

を掲げています。ですから、その場に行かなくては得られない「就業体験」ができることを希望します。

費用については、就業体験だとは言え「学生としての学び」であるからには、報酬をもらうことは考えていません。報酬をもらうならばアルバイトです。報酬を貰わないからこそ学校からの単位を得ることにつながります。

ただし、学生はお金がないものですから、もしも交通費や宿泊代の一部または全部のご負担をいただけるようであれば、お願いしております。例えば、大学がインターンシップを実施する際には、交通費は全額学生持ちだが、宿泊は学生寮を使って安価にするといった例が見られます。（2019.10）

(3) 募集要項を送るのはいつ頃が良いでしょうか？

2月になると夏休みが確定して Web に貼り付けられますので、それ以降に「実施日」を決めて募集要項を完成させたらどうでしょうか。

受け取った募集要項を開示するのは4月第1週以降ですので、あまりに早い発送は意味がありません。

学生は主に4月から6月頃に行き先企業を選びますので、全学生にアピールしたければ4月中には案内を頂けるのが良いでしょう。6月以降など、夏休み直前では既に何割かの学生は行き先が確定済みですので、そのころの募集要項受け取りでは、閲覧する人数は限られてしまいます。

なお、「昨年度のご案内があった企業」については、「今年度も案内が来るか」「来るとしたら同時期か」と学生が待っている可能性はありえます。（2019.10）

(4) 実施期間が5日間というのは短いと思うのですが？

本校本科のインターンシップの期間は1週間または2週間が基本です。1週で短いとお考えなら2週間の研修をお考えください。

学校としては研修先での30時間（これは6時間×5日間＝7.5時間×4日間）以上で1単位、60時間以上で2単位になります。2単位が上限です。2週間を越える日程のインターンシップの場合、学生から見たとき「2単位を得るには長すぎる」と思われてしまう可能性があります。（2019.10）

(5) 事前に学生の能力や状況や希望を把握できれば、実施内容を微調整できるのですが

インターンシップの要項にその旨のご記載をお願いいたします。特に希望については選択肢と共に問うてもらえると答えやすいです。(2019.10)

(6) できれば就職を検討する学生に来て欲しいのですが

企業のご希望として、「もしも複数名の希望があった場合、当社への就職を考える学生を優先して欲しい」とお考えなのは無理からぬことだと思います。そういったご希望は要項内にご記載をお願いいたします。ただし、「インターンシップに参加しないことが、就職活動の不利に働くことがない」ようお願いいたします。

なお、今までの実績を考えますと、インターンシップに参加した学生がその会社に就職する確率は約3割です。(2019.10)

(7) 受入れ企業が学生受入れにどれだけ力を注ぐか学生は知っていますか

インターンシップの研修会では、学生の受け入れには企業の方の多大なる労力のおかげであることを伝えていきます。そして、多くの学生が事後アンケートにて「企業に感謝している」といった回答を記しています。

ただし現状では、すべての学生の気持ちの確認はしていません。ですから、学生の積極性が薄かった時など、企業の方がこうした問いかけをなさるのは無理からぬことと思います。

こうしたご意見を頂くということは、まだ学内の指導体制に改善の余地があるということと思われれます。今後もますます社会に応えられる学生育成に励みたいと思います。(2019.11)

5. インターンシップの参加状況

平成29年や30年の参加状況は、<http://internship.numazu-ct.ac.jp/> ((沼津高専のインターンシップ関連情報のWeb)の中の、

平成29・30年度報告書(pdfファイル)

の「1. インターンシップの概要(実施数など)」に記載がございますので、ご参照ください。(2019.10)

なお、ここしばらくの参加数を以下に記します：

令和1年度の参加数は166名、募集要項を学校に送ってくれた会社数は236社。

平成30年度の参加数は141名、募集要項を学校に送ってくれた会社数は203社。

6. インターンシップ事前研修

インターンシップへ参加が決定した学生および、参加を希望する全学生に対して令和元年度に実施の事前研修の概要は、<http://internship.numazu-ct.ac.jp/> ((沼津高専の) インターンシップ関連情報の Web) の中の、

平成29・30年度報告書(pdfファイル)

の「3. インターンシップ事前研修」に記載がございます。下記に示す「受入機関からのアンケート」や「学生からのアンケート」を元に内容は毎年微調整されています。(2019.10)

7. インターンシップ受入機関からのアンケート集計結果

平成29年と30年の集計結果は、<http://internship.numazu-ct.ac.jp/> ((沼津高専の) インターンシップ関連情報の Web) の中の、

平成29・30年度報告書(pdfファイル)

の「4. インターンシップ受入機関からのアンケート集計結果

5. 記述式質問 7, 8, 9 のまとめ」

に記載がございます。

なお、集計はプライバシーに配慮してあり、個別の意見がどの企業によるものなのかは分からなくしてあります。我々はその集計結果から、必要な改善に努めています。(2019.10)

(2) 事前に、何を学びたいかの情報をいただくと助かります

本校本科生に共通する目的は「企業等において実際の工業技術を体得する」です。

その上で我々教員は「目的をはっきりさせなさい」と学生に呼びかけています。COOP教育委員長からは、例えば「企業の安全意識の高さを見てきなさい」といったどんな企業にも共通する事項を学生に投げかけています。学科や学生ごとに独自の目的を追加することもあるようです。

学校や学生ごとに希望を確認してそれぞれに実施内容を整備されとしたならば、何回かの情報交換が必要になるかと思われまます。学生の専門性はまだまだ発展途上ですし、インターンシップを指導する担任も貴社を深く知っているとは限りません。(2019.10)

8. インターンシップ参加学生からのアンケート集計結果

平成29年と30年の集計結果は、<http://internship.numazu-ct.ac.jp/> ((沼津高専の) インターンシップ関連情報の Web) の中の、

平成29・30年度報告書(pdfファイル)

の「4. インターンシップ受入機関からのアンケート集計結果

5. 記述式質問 7, 8, 9 のまとめ」

に記載がございます。

なお、集計はプライバシーに配慮してあり、その意見がどの企業に言ったどの学生によるものなのか分からなくしています。我々はその集計結果から、必要な改善に努めています。
(2019.10)

(2) 実習後の学生の意見を聞きたいのですが

最終日に社内で報告会を設けて、その場で学生から必要事項を聞く会社様が多いです。最終日には遠慮なく学生から聞いてください。

学校では学科内で学生に報告会をさせていますが、その会への会社様をご招待することはありません。条件を考えますと会社様のご参加は難しいと考えます。

会社や学生を特定しなくても良いのであれば、「8. インターンシップ参加学生からのアンケート集計結果」がインターンシップ報告書内にございます。ご参考になるものがあるかと思われます。(2019.10)

9. その他質問

その他の質問については以下の通り回答いたします。

(1) これからもよろしく願います [要望]

こちらこそよろしく願います。

そのためにも、これからも忌憚のないご意見をお待ち申し上げます。

(2019.10)

(2) 教員に來訪頂き有難うございます

予算の問題や教員の予定の都合から、「すべての会社にご訪問できる」というわけではございませんことをお詫び申し上げます。訪問は、学科応募の会社に対してインターンシップ実施初年度に行うのが基本です。それ以外の場合（2年目以降や、学校公募）には、殆ど計画していません。ただし、計画は学科や担任の方針によって多少のばらつきがあります。

(2019.10)

(3) 事後提出用証明書の用紙の入手方法を改善して欲しい

【事後提出用証明書の用紙において記入できる所は埋めてから渡して欲しい】

本校から会社様をお願いする標準的な書類には、書けるところはすべて埋めてあり、事前に送付してございます。ただし、特別に「当日学生が持参」といった書類については、学生が記入するものとして扱っております。ぜひ学生に必要な事項を記入するようにご指示をお願いいたします。(2019.10)

【事後提出用証明書の用紙を電子的な形（除 pdf）で受け取れば使いやすい】

本校事務にご相談頂ければ電子ファイルを送付いたします。

電子ファイルがたやすく入手できるようにしておいた場合、何らかの捏造がないとは言えないと考え、電子ファイルは限られた範囲としてございます。(2019.11)

(4) 企業担当者は、事前に学生と面談できますか？

まずは、担当教員（通常は、担任）にご相談からするところからお願いいたします。担任が知らないうちに企業担当者が学生に連絡することはご遠慮くださいますようお願いいたします。(2019.10)

(5) (インターンシップに関して)学生へのアピールの機会がありますか？

残念ながら、2019年現在では、インターンシップ（や就職）に関して学生に向けたアピールの場は、沼津高専単体としては存在しません。

インターンシップに関しては、県内には静岡大学地域創造教育センターが中心になって進める文部科学省補助事業「COC+」によるインターンシップマッチング会が、沼津高専内で行われているものです。なお、COC+は期限付きのプロジェクトであり、2019年度が最終年度です。

2020年度やそれ以降については、2019年10月現在、検討中であるとだけ回答いたします。(実施するかどうか、実施するとして窓口がどこか、未定です)(2019.10)

(6) 事務局との連携をもう少し密にしたいです

沼津高専はインターンシップの窓口「事務局」という言葉を使っていません。

事務局という言葉がCOC+を指すものとしたら、その旨をCOC+に伝えておきます。(2019.10)

(7) どうすれば就職先に選ばれるでしょう？

大変恐縮ですが、文科省によるインターンシップ推進に当たっての基本的考え方によりますと、高専4年生の2月末まではインターンシップと採用活動は別物だとなっておりますので、インターンシップの場で就職のことはあまり触れたくありません。

とはいえ、実績を見ますと、インターンシップのうちの約3割は、その会社の就職につながっているという統計データがあります。(2019.10)

(8) 今年度のインターンシップが終わりましたので、学校にご挨拶に行きたいのですが？

ご挨拶の目的は何でしょうか。

もしも純粋に「来年度のインターンシップに向けて」というものであれば、ご遠慮頂くようお願いいたしたく存じます。インターンシップは、COOP教育委員長と4年生の学級担任が担当していますが、基本的に企業からのご訪問は承っておりません。なぜなら、学生は企業から送られる要項を頼りに行き先を決めるという体制になっているからです。

もしも「できれば就職につなげたい」というものであれば、就職指導担当をご訪問されることをお勧めいたします。（<http://www.numazu-ct.ac.jp/for-public> 地域・企業のみなさまに向けた Web 頁）本校は、文科省の方針に倣い、インターンシップと就職は別物として分けて対応してございます。なお、例年、就職指導のシーズンは 12 月 1 日からとじていますので、もしも 2021 年 4 月入社 of 学生に関するご挨拶であれば、2019 年 12 月 1 日以降のご訪問（予約は 11 月下旬頃から）をお願いいたします。（2019.10）

(9) 専攻科学生にも 1, 2 週間実施のインターンシップに来て欲しい

この文書では本科学学生について扱っています、専攻科については別の窓口にお問い合わせください。（2019.10）

（私見を申し上げます。

本校の専攻科にとって、単位になるインターンシップは 16 週間のものです。ですから専攻科が扱うのは 16 週間のものだけのはずです。もしも専攻科学生が、専攻科とは別の情報源から 1, 2 週間のインターンシップを知り、単位にならなくても参加したいと思われるほど魅力的なものであれば、個人としての参加がありえるのではないかと思います。

（2019.10）